

### 3 短期大学・高等専門学校

(1) 表5に示すとおり、平成25年3月卒業者のうちの就職者総数は671人で、前年より56人減少している。そのうち県内に就職した者は511人で、前年より45人減少している。県内就職率は76.2%で、前年より0.3ポイント低下している。

県内就職率を学科別でみると、社会学科、人文学科、教育学科で90%を超える高い率になっている。

3ページ表3で示したとおり、県外就職者は160人で、前年より11人減少している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、九州・沖縄83人(51.9%)、関東39人(24.4%)、近畿21人(13.1%)、中国8人(5.0%)の順となっている。

進学者総数は245人で、前年より50人減少している。県内進学率は57.1%で、前年より8.3ポイント低下している。

表5 学科別進路状況(短期大学・高等専門学校)

(単位:人、%)

区 分	総 数		人 文		社 会		工 業		農 業	
	25年3月	24年3月	25年3月	24年3月	25年3月	24年3月	25年3月	24年3月	25年3月	24年3月
卒業生総数	1,057	1,174	195	255	78	146	153	152	33	36
就職者総数	671	727	127	170	35	73	100	92	20	24
就職率	63.5	61.9	65.1	66.7	44.9	50.0	65.4	60.5	60.6	66.7
うち県内就職者	511	556	116	141	35	72	19	20	10	11
県内就職率	76.2	76.5	91.3	82.9	100.0	98.6	19.0	21.7	50.0	45.8
進学者総数	245	295	40	44	20	44	47	56	13	10
進学率	23.2	25.1	20.5	17.3	25.6	30.1	30.7	36.8	39.4	27.8
うち県内進学者	140	193	15	19	20	44	21	24	-	-
県内進学率	57.1	65.4	37.5	43.2	100.0	100.0	44.7	42.9	-	-
一時的な仕事に就いた者	32	24	4	5	4	4	-	-	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	3.0	2.0	2.1	2.0	5.1	2.7	-	-	-	-
うち県内居住者	26	19	3	4	4	3	-	-	-	-
県内居住率	81.3	79.2	75.0	80.0	100.0	75.0	-	-	-	-
その他総数	109	128	24	36	19	25	6	4	-	2
その他の率	10.3	10.9	12.3	14.1	24.4	17.1	3.9	2.6	-	5.6
うち県内居住者	56	63	14	23	9	9	5	3	-	2
県内居住率	51.4	49.2	58.3	63.9	47.4	36.0	83.3	75.0	-	100.0

#### つづき

区 分	家 政		教 育		芸 術	
	25年3月	24年3月	25年3月	24年3月	25年3月	24年3月
卒業生総数	150	185	291	279	157	121
就職者総数	127	136	232	215	30	17
就職率	84.7	73.5	79.7	77.1	19.1	14.0
うち県内就職者	102	104	211	201	18	7
県内就職率	80.3	76.5	90.9	93.5	60.0	41.2
進学者総数	13	29	35	49	77	63
進学率	8.7	15.7	12.0	17.6	49.0	52.1
うち県内進学者	2	12	34	45	48	49
県内進学率	15.4	41.4	97.1	91.8	62.3	77.8
一時的な仕事に就いた者	5	1	8	9	11	5
一時的な仕事に就いた者の率	3.3	0.5	2.7	3.2	7.0	4.1
うち県内居住者	5	1	7	9	7	2
県内居住率	100.0	100.0	87.5	100.0	63.6	40.0
その他総数	5	19	16	6	39	36
その他の率	3.3	10.3	5.5	2.2	24.8	29.8
うち県内居住者	4	13	13	4	11	9
県内居住率	80.0	68.4	81.3	66.7	28.2	25.0

(2) 図6に示すとおり、平成25年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、医療、福祉が318人(47.4%、前年に比べ3.5ポイント上昇)で最も多く、次いで製造業63人(9.4%、同1.4ポイント上昇)、教育、学習支援業53人(7.9%、同0.9ポイント上昇)、卸売業、小売業52人(7.7%、同3.9ポイント低下)の順となっている。

県内就職者を産業別でみると、図7に示すとおり、医療、福祉が286人(56.0%、前年に比べ5.1ポイント上昇)で最も多く、次いで教育、学習支援業45人(8.8%、同0.3ポイント上昇)、卸売業、小売業42人(8.2%、同3.7ポイント低下)、金融業、保険業25人(4.9%、同0.9ポイント上昇)、製造業19人(3.7%、同0.3ポイント低下)の順となっている。

図6 産業別就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

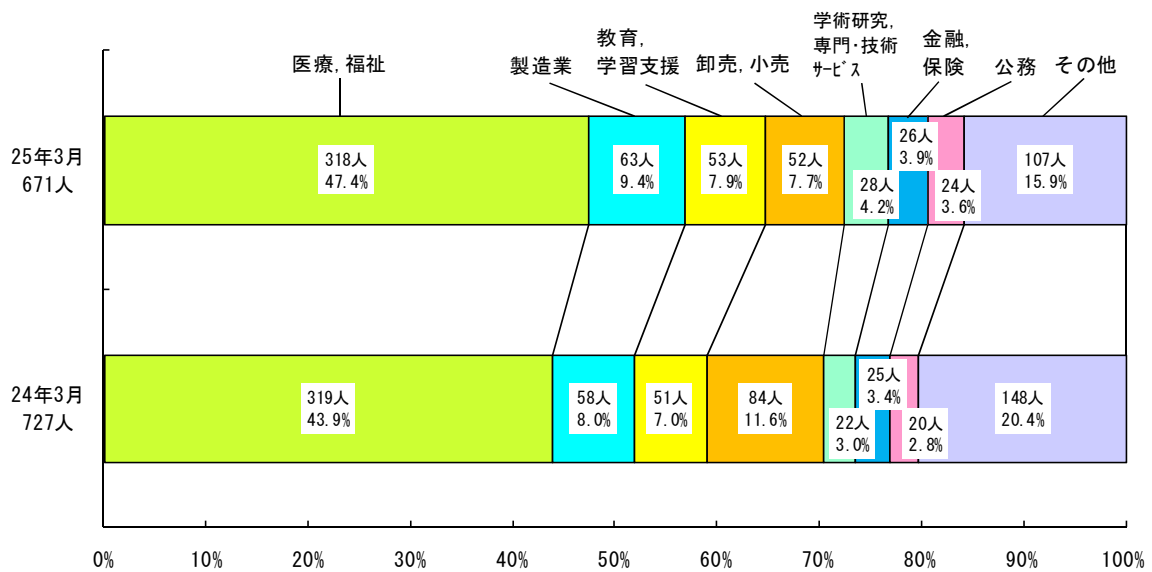


図7 産業別県内就職状況の推移(短期大学・高等専門学校)

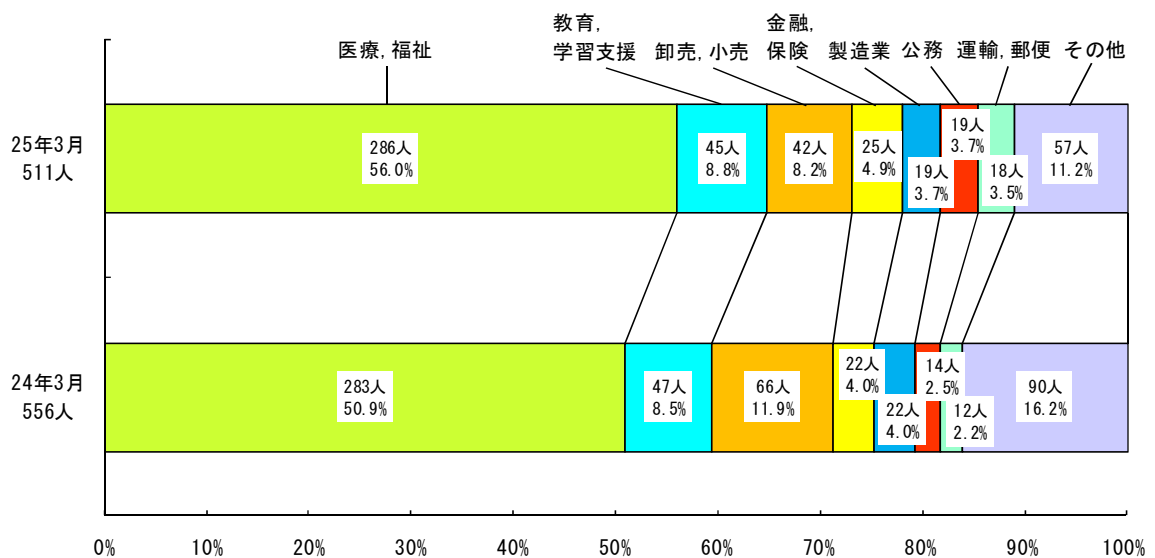


表3 県外就職者の就職先地方別状況

(単位：人、%)

区 分	県外 就職者数	県 外 就 職 者 の 内 訳							
		九州 ・ 沖縄	四国	中国	近畿	中部	関東	北海道 ・ 東北	その他
大学	1,428	445	37	69	98	75	319	8	377
構成比		31.2	2.6	4.8	6.9	5.3	22.3	0.6	26.4
短期大学・ 高等専門学校	160	83	2	8	21	7	39	-	-
構成比		51.9	1.3	5.0	13.1	4.4	24.4	-	-
専修学校 (専門課程)	414	257	11	12	41	10	78	5	-
構成比		62.1	2.7	2.9	9.9	2.4	18.8	1.2	-
高等学校	620	254	1	37	107	96	117	2	6
構成比		41.0	0.2	6.0	17.3	15.5	18.9	0.3	1.0
合計	2,622	1,039	51	126	267	188	553	15	383
構成比		39.6	1.9	4.8	10.2	7.2	21.1	0.6	14.6

注) 端数処理の関係で、各地方の構成比を合計しても100にならない場合がある。